

ゴンドラ

No.2

大和川付け替えから300年

大阪の人に親しまれている大和川。しかし、この川が江戸時代に造られた人工の川であることを知らない人は意外と多いようです。現在の大和川は、柏原市役所の前から西、大阪湾までの部分が江戸時代に付け替えられた川なのです。それまでの大和川は北もしくは北西に流れ、淀川へと注いでいました。今の長瀬川や玉串川が、もとの大和川の本流だったのです。ところがたびたび繰り返される洪水の被害を防ぐため、宝永元年（1704）に付け替えられたのが、今の大和川なのです。

今年は、その大和川付け替えから300年を迎えます。各地でさまざまな記念事業が計画されていますが、当館でも記念企画展として、春には「絵図に描かれた大和川」、夏には「大和川を掘る」、秋には「つけかえから300年」と大和川に関連する展示を計画しています。それに伴って、講演会なども開催する予定にしています。当館では、毎年秋に大和川付け替えに関連する企画展を開催しており、小学校4年生の学習内容に合わせることによって、多数の来館者があります。今年は、それをより一層パワーアップしようと考えております。

また、周辺の博物館や資料館でも大和川付け替え300年を記念した展示が各地で開催されます。それぞれの館が、それぞれテーマをもって大和川について取り組んでいます。当館では、これらの博物館・資料館と協力して、大和川付け替え300年記念事業に取り組んでいく計画を進めています。各館を見学すれば、大和川の歴史について深く学ぶことができるように工夫します。くわしいことについては、これからポスターやチラシでお知らせしていきます。

今年1年間の事業を通じて、少しでもみなさんに大和川の歴史に興味・関心をもっていただけたらうれしく思います。当館だけでなく、ぜひお近くの博物館・資料館にも足を運んでいただきたいと思います。きっと何か新しい発見があると思います。



付け替えの功労者・中甚兵衛肖像画

企画展のご案内

◎平成16年冬季企画展「ちょっと昔の道具たち～おかあさんの1日～」

平成16年 1月14日～3月5日

冬の企画展「ちょっと昔の道具たち」は、40年ぐらい前まで使われていた道具を中心とした展示です。小学校3年生の学習内容に合わせたもので、毎年たくさんの小学校が見学に来れます。今回は、「おかあさんの1日」として、女性が主に使っていた道具を中心に展示してみました。女性の仕事がどのように変化してきたか。その背景にある女性の立場についても考えてみたいと思います。



昨年の展示風景

◎平成16年春季企画展「絵図に描かれた大和川」

平成16年 3月24日～6月13日

大和川つけかえ300年記念企画展のひとつとして開催します。中好幸氏所蔵資料や本館所蔵資料を展示し、つけかえ前後の大和川について、目で見てわかる展示にしたいと考えています。

◎平成16年夏季企画展「大和川を掘る」

平成16年 7月10日～8月29日

◎平成16年秋季企画展「つけかえから300年」

平成16年 9月22日～12月5日

※タイトル・期間等は変更になることがありますので、事前に確認してください。

—おしらせ—

平成16年も、次のような事業を計画しています。ぜひご参加ください。

◎わらぞうりづくり

平成16年 2月28日（土） 午後1時～4時 参加費 無料 定員15名（先着順）

◎むかし体験企画

平成16年 5月15日（土） 午前10時～午後3時 参加費 無料 於・史跡高井田横穴公園
横穴の特別公開や各種の体験教室などを開催。

◎横穴特別公開

平成16年10月16日（土） 午前10時～午後3時 参加費 無料 於・史跡高井田横穴公園
ゴンドラ形の船に乗る人物の線刻壁画を始め、多数の横穴を公開。職員が解説。

※いずれもお申し込み、お問い合わせは歴史資料館まで。日時・内容は変更になることがあります。

このほかにも、しめなわづくり、文化財講演会、文化財講座などを予定しています。

企画展を終えて

★平成15年冬季企画展「ちょっと昔の道具たち—春夏秋冬、昔のくらし—」

平成15年 1月15日～3月16日

★平成15年春季企画展「築留二番樋と玉手橋—登録文化財の紹介—」

平成15年 4月16日～6月8日

文化財講演会（5月25日）

柏原市教育委員会 石田成年氏「柏原市の近代化遺産」

奈良大学助教授 三木理史氏「柏原：道と川の近代」

★平成15年夏季企画展・開館十周年記念企画展「玉手山古墳群を探る」

平成15年 7月12日～8月31日

文化財講演会（7月20日）

柏原市立歴史資料館 安村俊史

「ここまでわかった玉手山古墳群」

神戸商船大学名誉教授 北野耕平氏

「玉手山古墳群と古代河内の勢力」

文化財講演会（7月27日）

奈良市教育委員会 鐘方正樹氏

「玉手山古墳群の再検討」

大阪市立大学助教授 岸本直文氏

「倭王権と玉手山古墳群」



「玉手山古墳群を探る」

歴史資料館開館十周年を記念した企画展として開催しました。最近研究が進んでいる玉手山古墳群にスポットを当て、40年前に関西大学が調査をしたときの資料など初めて公開された資料も多数ありました。前期古墳が注目を集めていることもあり、大勢の見学者がありました。

★平成15年秋季企画展「流れをかえる大和川—つけかえ決定から300年—」

平成15年 9月25日～12月7日

活動の記録から

★わらぞうりづくり（2月22日）

毎年冬季企画展に伴って開催しています。1足を仕上げるのはむずかしく、参加者は、楽しみながらも慣れない手つきで悪戦苦闘の連続でした。

★むかし体験企画（5月17日）

★しめなわづくり（12月7日）



わらぞうりづくり

新収資料の紹介

当館には、毎年多数の資料が寄贈されています。市民の方々が大切に
残してこられたものをいただくわけですから、大切に保管し、活用して
いきたいと考えています。今回は、その中から、2冊の教科書をご紹介
したいと思います。1冊は『小学校用 日本歴史 前編第一』で、明治
26年刊、定価10銭8厘となっています。内容は神武天皇に始まって、紫
式部まで。人物を中心とした記述になっています。もう1冊は南河内郡
教育会編纂の『大阪府地理史談』です。こちらは明治33年刊で、定価19
銭です。柏原市に関係のあるところをみると、大和川について「大和川
ハ、大和ヨリ来リ、築留ニ至リテ更ニ石川ト会シ、西流シテ摂津、和泉
ノ間ヲ過ギ、堺浦ニ注グ」と書かれています。更に「築留」「柏原村」
「三田浄久」「国分」「安福寺」「慶長ノ古戦場」と続いています。おもしろ
いのは、この時期には国分村は当然南河内郡なのですが、柏原村も南
河内郡に属しており、堅下村は中河内郡に属していることです。

この教科書は、国分本町の吉田喜久夫さんに寄贈していただきました。
吉田さんの祖父が使っておられたものということで、裏表紙には「柏
原高等小学校 第一学年 吉田政吉」と書かれています。当館では教科
書をあまり所蔵していないので、貴重な資料となりました。



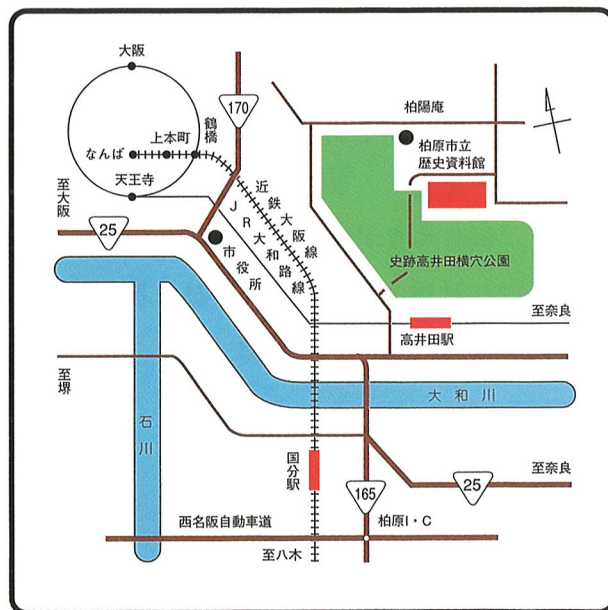
小学校用日本歴史前編第一



大阪府地理史談

—ひとこと—

開館十周年を記念して Gondra 第1号を刊行して
以来、1年あまりが過ぎました。諸般の事情のため
なかなか刊行できなかったのですが、ようやく第2
号を刊行でき、一安心というところです。今年は大
和川付け替えから300年という記念の年にあたり、
当館も大和川一色の1年となりそうです。市民の声
に耳を傾けつつ、Gondraに揺られながらゆったり
と進めていきたいと考えています。よろしくお願いします。



柏原市立歴史資料館

休館日 月・火曜日、祝日（火曜日と重なるときは翌日も休館）

開館時間 午前9時30分～午後4時 入館料 無料

〒582-0015 大阪府柏原市高井田1598-1 TEL 0729-76-3430

<http://www.city.kashiwara.osaka.jp/shakaikyoku/bunkazai/kan.html>